



9月4日(日)の綾瀬市総合防災訓練に参加 大上地区社協は、本年も避難行動要支援者の安否を確認

9月1日(木)の「防災の日」にちなみ、綾瀬市では9月4日(日)に大規模地震を想定しての総合防災訓練を実施しました。特に近年は、東日本大震災や熊本地震など大規模地震が発生しており、首都直下型地震が30年以内に70%の確率で発生すると伝えられるなど、大上地域も何時地震が発生するか予断を許しません。このような状況下で大上自治会自主防災会は、市の防災訓練要領に従って本部役員、防災長(区長)や副防災長(副区長)、防災リーダー、民生委員・児童委員、そして地区社協役員や会員など総勢234人が参加して、大上自治会館に対策本部を置き、校区内の小中学校の4校でのMCA無線やクロスロード(災害対応型ゲーム)を通して防災訓練を行ないました。



避難行動要支援者宅を訪ねて安否確認

大上地区社協は、本年も大上自治会自主防災会からの要請を受けて大上地区の避難行動要支援者の安否の確認をする作業を担当して積極的に参加しました。

当日は、午前8時30分に市の防災無線のサイレンと共に、各区の理事と会員は自分と家族の安全を確認した後、担当する避難行動要支援者宅を1軒1軒訪問して安否の確認を行ない、区ごとに確認結果を大上自治会館に設営されている対策本部へ報告し、午前10時に任務は終了しました。

現在、市に登録されている大上地区における避難行動要支援者は242人で、今回安否確認が出来たのは206人。確認率は85%でした。

住民の皆さんは、突然に災害が発生した場合、避難先を始め、非常時の持ち出し物品の準備、非常食の常備など、まずは自分の身は自分で守るべく備えましょう。

深谷大上ふれあいの家で「夏休み宿題部屋」を開設

大上地区社協は、地域での子育て支援の一環として小・中学校が夏休みの期間中に、子ども達が自由に学習できる場として深谷大上ふれあいの家を「夏休み宿題部屋」として開設しました。

開設したのは8月の22日(月)、24日(水)、29日(月)、31日(水)の4日間の午前9時から正午までで、子ども達が自由に学習できる場所として提供したものです。今年は二度の台風や雨に見舞われた悪天候ながら、子ども達3人が来館して勉強していました。大上地区社協の会員は、子ども達が安心して勉強できるよう見守りを通して協力していました。



ふれあいの家でお勉強

綾北小学校の花壇への水やり作業に今年も協力

綾北小学校は、「花いっぱい笑顔いっぱいの綾北小学校」と掲げ、美しい花が咲き続けていることも学校像の一つとしていますが、夏休み中の7・8月の土・日・祝日の花壇への水やりに苦慮されていることから、大上地区社協は平成25年から、この水やり作業に協力して4年目となりました。

今年も7月23日(土)から8月28日(日)まで、大上地区社協の会員が中心となって地域の皆さんと共に朝7時から夕5時からの水やり作業に協力しました。皆さんのお陰で、今夏も無事に乗り越えることが出来ました。ご協力ありがとうございました。



休日の朝・夕の水やり作業に協力